

環境にやさしいニュータイプの
浸透性吸水防止材

陶磁器タイル(モルタル目地)保護用水系浸透性吸水防止材

ALES AQUA
TILE

GUARD

アレスアクア タイルガード

環境にやさしい
水系浸透性吸水防止材

アレスアクア タイルガード

磁器タイル面のモルタル目地部は、酸性雨、炭酸ガス等による影響で、経時で中性化がすすみ徐々に劣化していきます。

また目地部に見られるエフロレッセンスやコケ・カビ等の汚れは建物の美観を損います。

アレスアクアタイルガードは、新しいタイプの水系浸透性吸水防止材で、吸水性のある素材に塗布・浸透させる事により、吸水を抑制し、さまざまな劣化現象（凍害・中性化等）から建物を護ります。

アレスアクアタイルガード 施工面の変化

塗布前



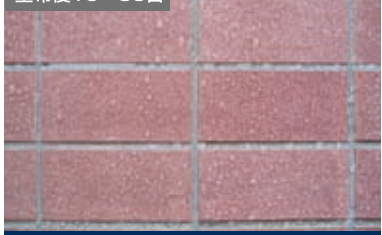
塗布後1日



塗布後2～10日



塗布後10～30日



塗布前

施工面を洗淨し、コケ・カビなど異物、汚れを除去します。
施工面を十分に乾燥させてから本品を塗布します。

塗布後1日

水をかけても、磁器タイル面上、モルタル目地部いずれも撥水が見られません。
アレスアクアタイルガードに含まれる親水性物質が水を受け止めるため、水をはじきません。（濡れ色になります）

塗布後2日～10日

水をかけると磁器タイル面上で撥水が見られますが、モルタル目地部ではまだ撥水が見られません。
磁器タイル面は浸透量が少ないため、撥水が早く発現します。
モルタル目地部は浸透量が多いため、撥水が現れるまで数日を要します。

塗布後10日～30日

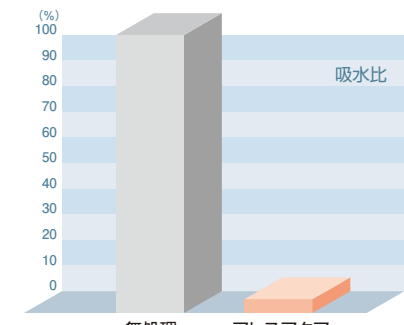
水をかけると、モルタル目地部も濡れ色にならず、撥水が見られる様になります。この段階で吸水防止保護層が、モルタル目地内部に形成されます。

アレスアクアタイルガードの主な特長

特長[1] 優れた吸水防止性

素材に浸透した吸水防止保護層が水の浸透を抑制させます。

■アレスアクアタイルガードの吸水防止性
（素材はモルタル板）



※吸水する素材に対し、吸水比を10%以下に抑制します。



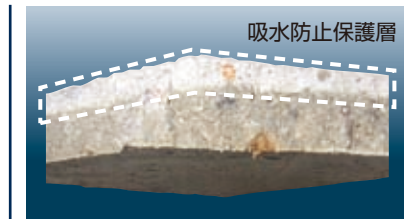
アレスアクア
タイルガード
未施工面

濡れ色になっている

アレスアクア
タイルガード
施工面

濡れ色になっていない

※施工後18ヵ月経過した雨掛り面へ霧吹き器にて水を噴霧した直後の写真

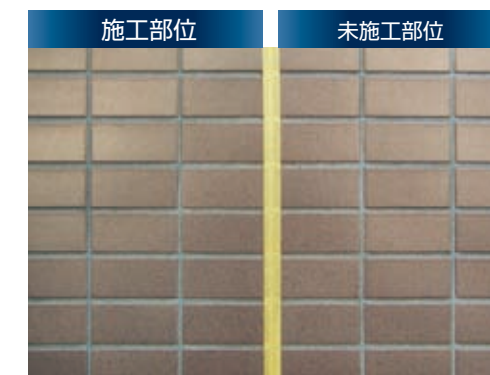


吸水防止保護層

※コンクリート表面と側面にアレスアクアタイルガードを塗布し、1ヶ月経過後水に浸漬させた状況です。
塗布した面から内部にかけて濡れ色になっていない白い部分が吸水防止保護層です。

特長[2] 優れた外観持続性

施工面に皮膜しないため、
施工前後の外観が変わりません。



特長[4] 壁面の汚れを低減

コケ・カビなどの発生を抑え、
除去も容易です。
またエフロの発生を抑えます。



※東京都大田区屋上にバクロ6ヶ月

特長[3] 環境に優しい完全水系

非危険物で臭気も穏やかです。

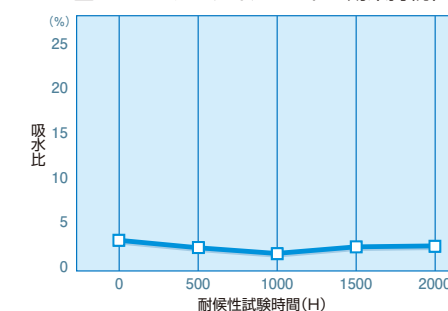
■性状

製 品 名	アレスアクアタイルガード	他社品 A	他社品 B
主 成 分	ポリシロキサン化合物	特殊シラン化合物	シラン化合物
	水	混合溶剤	混合溶剤
外 観	淡乳白色	無色透明	無色透明
臭 気	微臭	低臭	石油臭
引 火 性	無し	有り	有り
比 重	1.02		
p h 値	11.00～12.00		
粘 度	25±5mPa・S		
凍 結 温 度	-5℃		
危険物区分	非危険物		

特長[5] 優れた耐久性

吸水防止効果の持続性に優れます。

■アレスアクアタイルガードの効果持続性



〈キセノン2000(H)の耐候性試験〉
※長期にわたり吸水防止性が持続されます。

施工方法



工 程	使用材料	標準所要量	塗装間隔	塗装方法	希釈率
1回目	アレスアクアタイルガード	0.08kg/㎡～0.12kg/㎡	30分～2時間以内	ローラー・ハケ	0%
2回目	アレスアクアタイルガード	0.08kg/㎡～0.12kg/㎡	—	ローラー・ハケ	0%

- ①塗装用ローラーまたはハケを使用して、モルタル目地にたっぷり浸透させるように施工面全体に塗布・浸透させて下さい。吹き付け塗布させる場合は、低圧スプレー（噴霧器）を使用して浸透させて下さい。
- ②モルタル目地の深さや幅、磁器タイル面そのものの吸水性の違いなどの要因により、塗布量（浸透量）が大きく変動しますので、本施工前に必ずテスト施工をおこないご確認ください。
- ③ラスタータイル面の施工はタイル表面にくもりが残ることがありますので、施工を行わないで下さい。

施工の流れ

1 施工前処理

アレスアクアタイルガードが、ムラなく塗布できるよう、施工面を洗浄・清掃して下さい。また本品塗布後は、シーリング剤、塗料、防水材、養生テープなどが付きにくくなりますので、必ず本品塗布前に各工事を終了して下さい。

2 養生

前処理で行った補修塗装、シーリング工の部位が完全硬化するまで養生して下さい。（完全硬化時間は個々の仕様に従ってください）アレスアクアタイルガードを塗布する面以外は、飛散した材料が付着しないようポリシート等で養生して下さい。

3 塗布・浸透

1回目を塗布後、規程の塗装間隔内で、2回目の塗布をおこなって下さい。（濡れ色が残るまで塗り込んで下さい）雨天時および降雨が予想される場合は施工を中止して下さい。

4 乾燥・清掃

塗布後24時間以内に施工面以外に付着した本品を拭き取り清掃して下さい。塗布後、24時間以上乾燥させて下さい。



効果の確認

製品の特性上、施工完了後、撥水効果が発現するまで約10～30日かかります。その間霧吹き等で施工面に水をかけ、撥水状況を確認して下さい。

注意事項

■施工上の注意事項

- 1.本施工前に必ずテスト施工をおこない、物件ごとの状況確認をおこなって下さい。
- 2.施工作業中は、ゴーグル、マスク、手袋など保護具を着用して下さい。
- 3.保管は必ずフタをして直射日光を避け、0℃以上40℃以下の場所に静置して下さい。
- 4.塗布量と塗布回数は、施工面の状態により増減する場合があります。
- 5.塗布量が少ない場合、本来の性能が発揮されない場合があります。塗布量不足にならないように注意して下さい。
- 6.吸水防止効果が発現するまで、10～30日程度必要となります。
- 7.本品の塗布をおこなった面への塗装など、各種仕上工事は出来ません。
- 8.施工面上のエフロレッセンス、汚れ、油脂分などを薬剤洗浄及び高圧洗浄にて入念に除去して下さい。薬剤洗浄を行った場合は、施工面に薬剤が残留しないよう水でよく洗浄して下さい。特に酸洗いを行った場合被塗面の中和処理を行って下さい。（白色変色する場合があります。）
- 9.施工面の補修に水系モルタルを使用した場合、本品が塗布可能な状態になるまで、3週間程度（23℃）の硬化養生期間が必要になりますのでご注意ください。
- 10.本品はアルカリ性液体ですので、アルカリ性に弱い物（アルミなど）に付着しないよう必ず移動又はポリシート等で養生して下さい。（特に植物）
- 11.夏期、被塗面が高温の時は水の蒸発が早く、浸透量不足になる場合がありますので、塗布間隔時間を短くして下さい。塗布後に降雨または降雪が予想され、24時間以上の養生時間が確保できない場合は、施工を中止して下さい。
- 12.24時間養生した後、塗布したムラ、すくなどが空気中のホコリなどを吸着して目立つ場合は、中性洗剤を入れた水で濡らしたウエス等で拭き取って下さい。ただし、雨水があたる面においては、そのまま放置しても1ヶ月程度で目立たなくなります。
- 13.施工中に床にこぼれたり、流れてしまった場合は、水で濡らしたウエス、タオル等で拭き取って下さい。残留していた場合、滑りやすくなりますのでご注意ください。
- 14.共用廊下内壁など非雨掛り部へ塗布する場合、大気中の汚れが吸着して黒く見える場合がありますので、2回目塗布直後に施工面の水拭きをおこなって下さい。
- 15.レンガなど、吸水性の高いタイルの場合、タイル面が変色する場合があります。
- 16.その他詳細は施工要領書をご参照下さい。

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照下さい。

予防策

- 取り扱い作業中、乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は医師の診察を受けること。
- 吸 入 した 場 合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲 み 込 ん だ 場 合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引越しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導して下さい。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにして下さい。

- 関西ペイントホームページアドレス <http://www.kansai.co.jp/>

ご用命は

関西ペイント販売株式会社

本 社	TEL (03) 5711-8904	FAX (03) 5711-8934
北海道販売部	TEL (0133) 64-2424	FAX (0133) 64-5757
東北販売部	TEL (022) 287-2721	FAX (022) 288-7073
北関東信越販売部	TEL (028) 637-8200	FAX (028) 637-8223
東京販売部	TEL (03) 5711-8905	FAX (03) 5711-8935
中部販売部	TEL (052) 262-0921	FAX (052) 262-0981
大阪販売部	TEL (06) 6203-5701	FAX (06) 6203-5603
中国販売部	TEL (082) 262-7101	FAX (082) 264-3285
四国販売部	TEL (0877) 24-5484	FAX (0877) 24-4950
九州販売部	TEL (092) 411-9901	FAX (092) 441-3339